

当院における上腸間膜塞栓/血栓症に対する 手術的加療の治療成績の検証のためのお願い

研究責任者 所属 外科 職名 医師 
氏名 井田 智之
TEL 075-641-9161 (代表)

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの術後経過（再発の有無、生活の質、その他検査結果）を用いた下記の医学系研究を、倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2010年4月1日～2025年12月31日までの間に、上腸間膜動脈(SMA)塞栓/血栓症に対して当院で救命目的の処置を受けられた患者さん

2 研究課題名

承認番号

研究課題名 当院における SMA 塞栓症および血栓症の治療戦略の検証

3 研究実施機関・研究責任者

国立病院機構 京都医療センター 外科 井田 智之

4 本研究の意義、目的、方法

SMA 塞栓/血栓症は治療介入の遅滞が大量腸管壊死を招き致死的もしくは機能予後不良を来す頻度の高い急性腹症の1つである。本疾患に対して従来はウロキナーゼ(UK)製剤を用いて血管内治療(EVT)を先行して行うことが一般的であったが、2023年付近からのUK製剤の市場供給不足により使用困難となっているため、当院では手術加療(開腹血栓除去術)を第一選択として行っている現状です。今後のこの状況は継続すると考えられ、このような背景から当院においてUK製剤使用可能時期と使用困難時期とでの治療群(EVT群と手術群)に分けて治療成績の比較検討を行い、現行の治療方針の妥当性を検証するために本研究をおこなっております。

5 協力をお願いする内容

上記期間中に SMA 塞栓/血栓症に対して当院で治療介入を受けた方の術前後の症状、検査所見などを、電子カルテから抽出し、分析に使用させていただきます。分析結果は、国内・海外の学会や論文に発表を予定しています。

6 本研究の実施期間

西暦 2010 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 抽出したデータは当科内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。
- 3) 検査結果の正確性を確保するためにカルテを参照するため、抽出時にデータの匿名化は行いません。データ固定後は、特定の個人を識別することができることとなる記述等（個人識別符号を含む）の全部を削除し、非識別匿名化情報として管理します。
- 4) その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し研究を行います。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先：

国立病院機構 京都医療センター外科 井田 智之

TEL：075-641-9161（代表）

窓口：代表電話より外科外来に連絡

以上